

東北関東大震災被災地への支援状況について

3月11日我が国観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した東北関東大震災が発生しました。

非常に強い揺れのほか、予想をはるかに上回る大津波の襲来、長時間にわたる大規模な火災の発生、安全と言われていた原子力発電所施設における事故など、未曾有の大災害となっております。

この大災害によりお亡くなりになった方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

また、被災された皆様の中をお察しいたしますと痛恨の極みであり、被災地の日も早い復興を願ってやみません。

このたびの大災害の発生を受け、被災された方々や被災地を支援するため、町では支援対策会議を立ち上げ様々な取組みを実施しています。

地震発生後の輸送手段の混乱の中、北海道や自衛隊と連携し、毛布や缶詰等の救援物資、避難所生活に必要な生活用水を近隣自治体の物資とまとめて被災地へ送り届けました。

また、町内の公営住宅やその他の住宅の空き家状況、仮設住宅の設置が可能な土地な



送られた物資
毛布
水 (500 ml)
缶詰
缶入りパン
乾パン
スティックパン
アルファ米
簡易トイレ
日用品セット

どを確認し、被災された方々の受け入れ体制を整えています。

募金活動として、町は、安平町社会福祉協議会、日本赤十字社安平町分区、安平町共同募金委員会との共同で義援金の受付を3月25日（金）から開始しております。

募集期間は4月30日（土）までです。御協力をお願いいたします。

募金活動はこれ以外にも実施され、追分高校の生徒が3日間街頭に立ち義援金の募金活動を実施するなど支援活動の輪も広がっています。

被災地を支援するためには広域的な取り組みも必要不可欠であることから、北海道や胆振管内市町との連絡体制を構築し、管内市町の首長による会議を開催し情報共有や連携を深めているところです。

その他の支援活動では胆振東部消防組合が3月16日から



ポリタンクで2,000個の水も！



被災地では未だに生活物資が不足し、被災者は不自由な生活を強いられています。

安平町として実施可能な支援について今後も検討を重ね、最大限取り組んでいきます。また、被災された方々の受け入れや被災地の復興支援に際し、町民の皆様にお願いしなければならぬことも十分予想されます。

その際には、御協力のほどよろしく願います。

総務課防災グループ

大震災の被害を受けて避難をされている皆さまへ

国税に関してのご相談は苦小牧税務署でも受付可能です。

(青森・岩手・宮城・福島・茨城県の納税者については国税に関する申告・納付期限の延長を行いました。)

申告後の還付金の確認及び納税証明書の交付申請等の手続きも可能ですのでお問合せください。

苦小牧税務署総務課

☎ 0145-32-3165

宮城県 300万円
宮城県山元町 100万円

※音声案内「2」を選択